



ETK0845017C

e-BOXad 工法書

ご使用の前に、この説明書を良くお読みのうえ、内容を理解してから、ご使用ください。
お読みになった後も、この説明書は大切に保管してください。

▽ 安全上のご注意 ～安全にご使用いただくために必ずお守りください～

この説明書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示す通りになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

本製品に関する安全上のご注意	
<p>⚠ 危険</p> <p>右記内容を見逃して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。</p>	—
<p>⚠ 警告</p> <p>右記内容を見逃して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。</p>	<p>接続箱は、落下などの無いように、確実に固定してください。 高所での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご注意ください。</p>
<p>⚠ 注意</p> <p>右記内容を見逃して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性及び、物的損害の可能性が想定されます。</p>	<p>刃物などのご使用時には十分に注意してください。 本製品の組立てには、本製品以外の部品を使用しないでください。 締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。 本製品の機能低下及び破損の原因となります。</p>
<p>お願い</p> <p>右記の内容を見逃して、誤った取扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。</p>	<p>融着接続作業は、ご使用の融着接続機の取扱い説明書をご覧ください。 メカニカルスプライス及び現地組立て型単心コネクタは、それぞれの取扱い説明書をご覧ください。</p>

▽ 注意

本品は曲げ特性強化(曲げ半径 15mm)心線専用の製品です。損失変動しない心線を使用してください。汎用 SM(曲げ半径 30mm)の心線を使用すると、伝送損失増の原因になります。

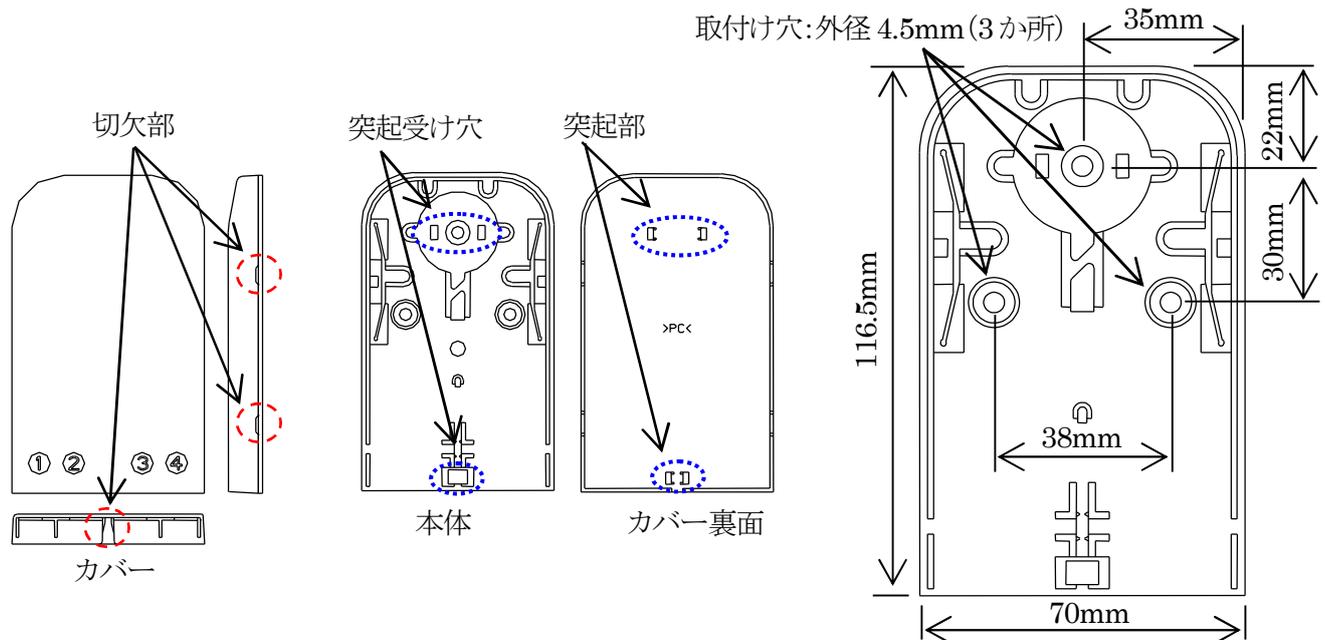
1. カバーの開閉と本体の固定方法

▼カバーの開閉

- (1) 下図のように、カバーを開放する際は切欠部を利用してください。
- (2) 下図のように、カバーを閉じる際は、裏面の突起部を本体の突起受け穴に合わせて固定してください。

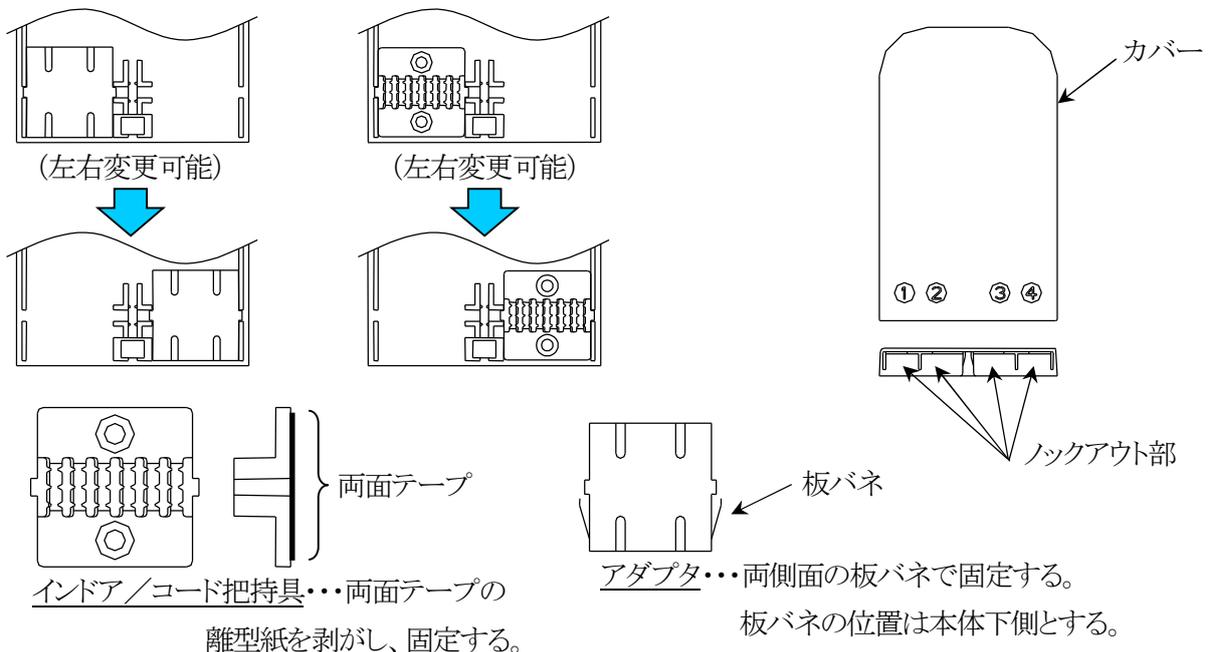
▼本体の固定方法

- (1) 下図のように、木板に固定する場合は添付の十字穴付丸木ネジと平座金を用いて、ぐらつきが無いように確実に固定してください。(木板以外の場合は取付けネジを準備ください。)
- (2) 本体を縦置きにする場合は、取付け穴に合う自在L型金具などの市販品を別途購入し、固定してください。



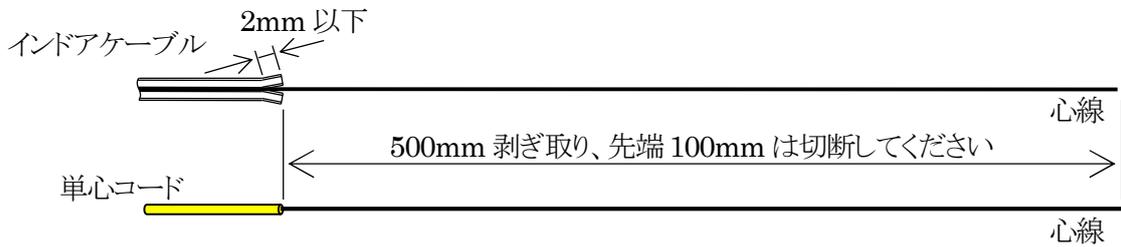
2. アダプタとインドア/コード把持具の固定方法および、カバーの加工方法

- (1) 下図のように、アダプタとインドア/コード把持具の取付け位置は左右変更可能です。本品外部でのインドアケーブル及びコードの取り回しに配慮し、適切な場所に固定してください。
- (2) 下図のように、インドア/コード把持具裏面の両面テープの離型紙を剥がし、確実に固定してください。
- (3) カバーのロックアウト部は、活用する部分のみニッパーで切断してください。(バリが残らないように加工する)



3. インドアケーブルおよび単心コードの前処理

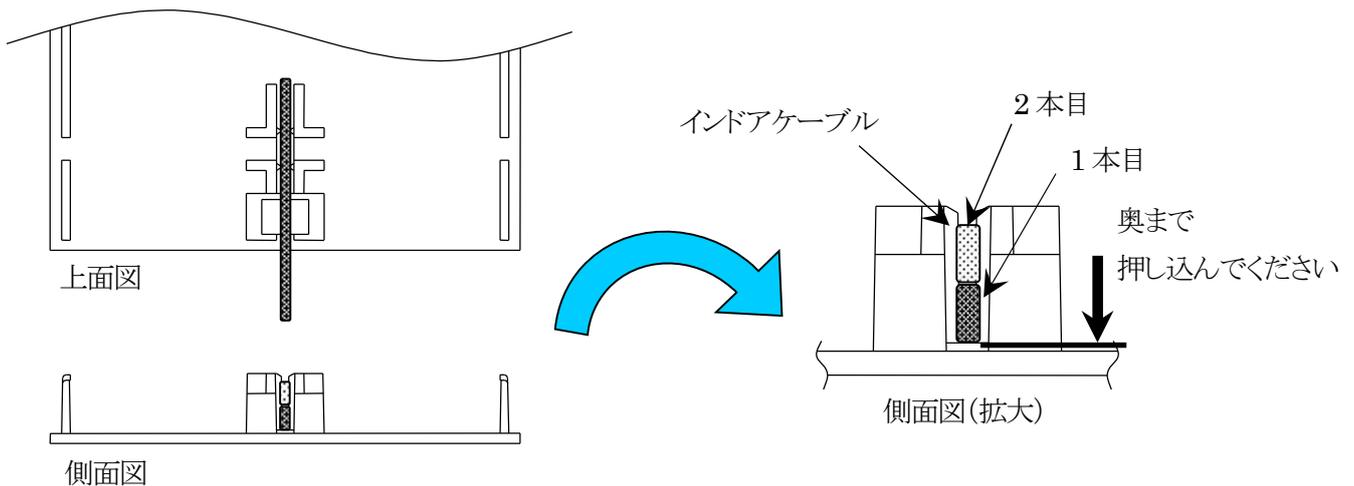
- (1) インドアケーブルもしくは単心コードを仮配線し、融着保護スリーブの固定位置を確認してください。
- (2) 下図のように、心線を口出してください。



4 インドアケーブル・コード把持

4-1. 本体側インドアケーブルの把持方法

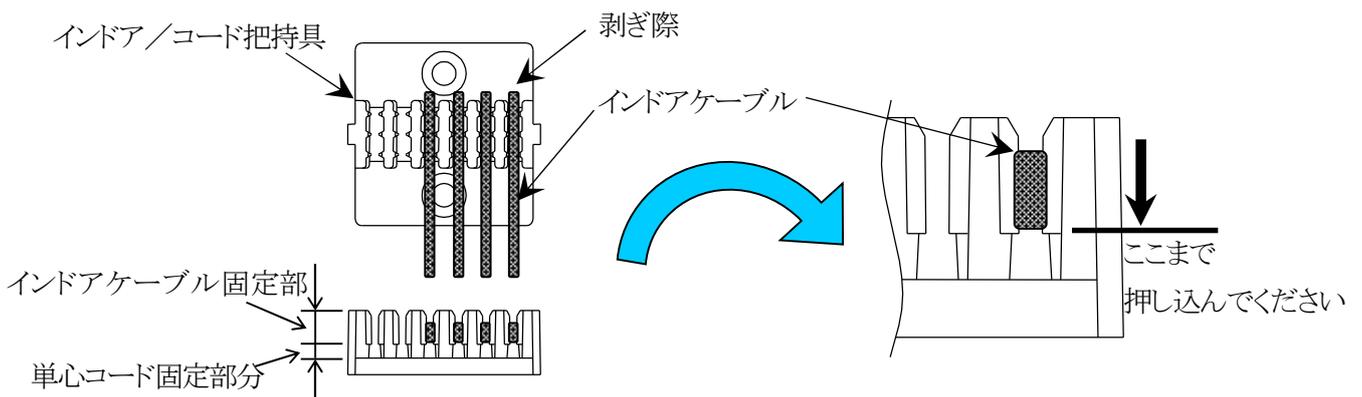
- (1) 下図のように、本品中央の溝に奥まで押し込み、固定してください。
 - ・図のように、1本目は本体の底面に接触するまで押し込み、2本目は1本目に接触するまで押し込んでください。
 - ・ドロップケーブルの場合は吊線を除去し、把持してください。



4-2. インドア/コード把持具の使用方法

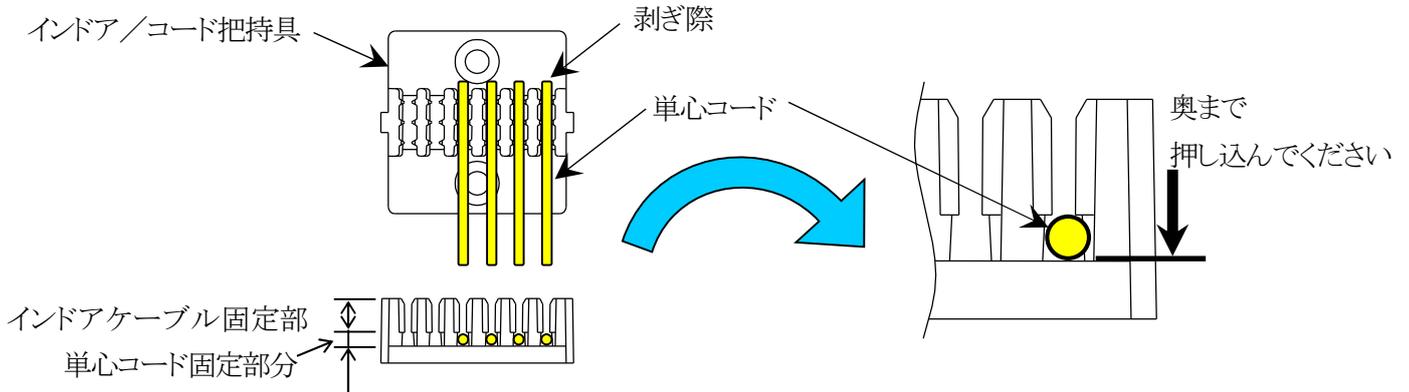
▼インドアケーブルの把持方法

- (1) 下図のように、インドア/コード把持具に1溝あたり1本を指定の位置まで押し込み、固定してください。
 - ・ドロップケーブルの場合は吊線を除去し把持してください。



▼単心コードの把持方法

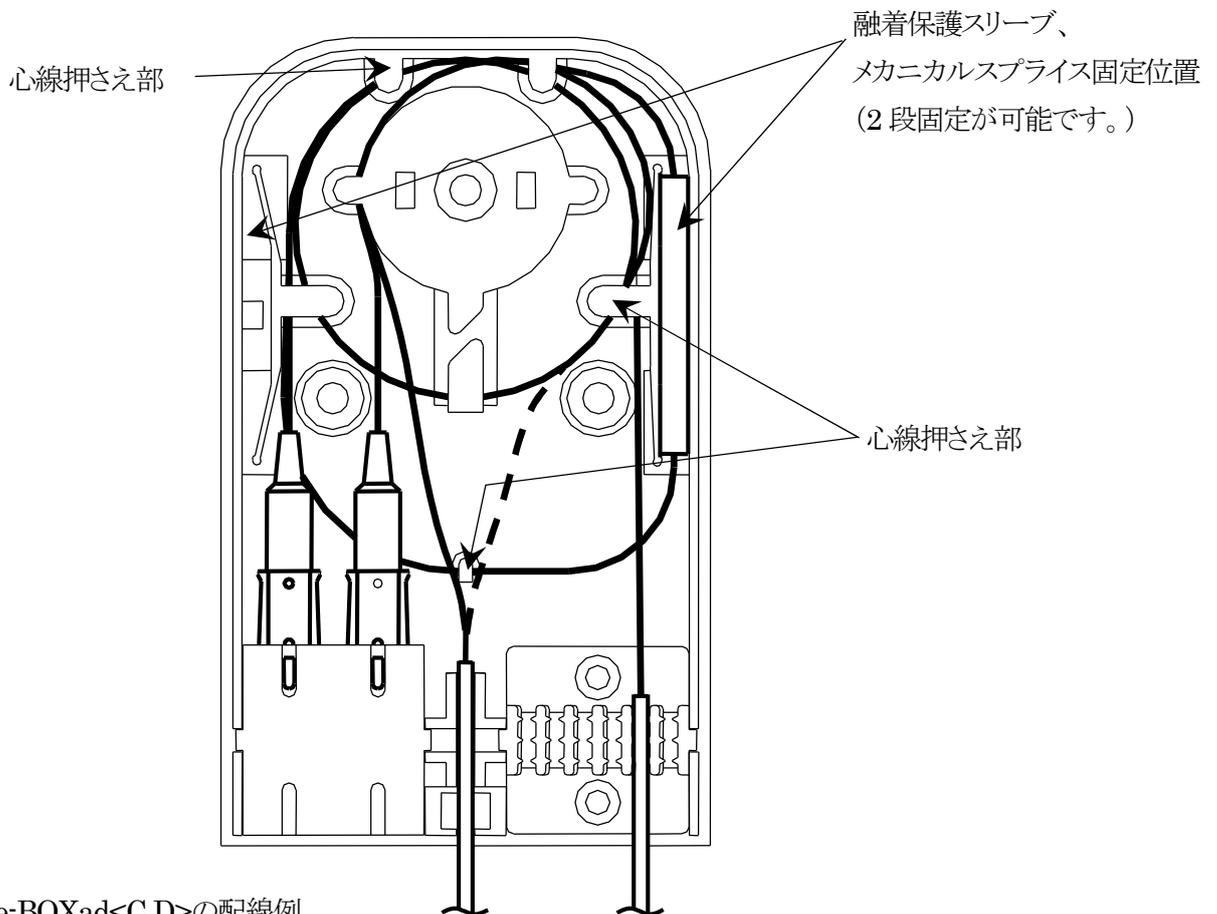
(1) 下図のように、インドア/コード把持具に1溝あたり1本を指定の位置まで押し込み、固定してください。



5. 配線方法

- (1) 下図のように、心線押さえ部の下側を確実に通し、配線を行ってください。
- (2) 融着保護スリーブやメカニカルスプライスは所定の場所に確実に固定してください。
- (3) コネクタ接続の際は、事前に内部の清掃を実施してください。
- (4) 融着接続機、現地組立型単心SCコネクタは、それぞれの専用の説明書を参照してください。

↓ 保護チューブは不要です。



e-BOXad<C,D>の配線例

以上